



授業テーマ

わたしたちの食品ロスについて考えてみよう

対象学年

小学5年または6年

テーマ設定に関わる社会的な背景

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことをいいます。

日本では、年間464万トン（2023年度）もの食品ロスが出ており、これは1人あたり1日約100グラムの食べ物をムダにしていることとなります。

家庭で出る食品ロスは、主に3つに分けられます：

1. 食べ残し：食卓に出したものの、食べきれずに捨てられたもの
2. 直接廃棄：賞味期限切れなどで、手をつけずにそのまま捨てられたもの
3. 過剰除去：野菜の皮などをむくときに、食べられる部分までむいてしまうこと

食品ロスの問題は「もったいない」だけではありません。次のような大きな影響があります。

- 食品ロスによる経済損失は4兆円
- 食品を作るには、水・エネルギー・土地などのさまざま資源が必要です。食品ロスは、これらの資源をムダにすることとなります。日本の食品自給率は約6割と低く、多くを海外からの輸入に頼っているため、海外の資源までムダにしていることとなります。
- 日本では生ごみを焼却処理しているため、食品ロスを燃やすことで二酸化炭素が発生し、地球温暖化の原因にもなっています。
- 世界には貧困や飢えに苦しむ人が7億人以上いるとされている中、日本の食品ロスは、約460万人分の食事に相当します。世界ではなんと10億人分にもなります。水不足によって将来の食料生産が難しくなることも心配されています。

SDGsの12番目の目標「つくる責任つかう責任」では、食品ロスを減らすことが重要な目標の一つです。食品ロスを通してわたしたちの社会のあり方について考えていく必要があります。

授業の目標

1. 食品ロス問題について理解する (知識・技能)
2. 社会の課題を読み解き、実践的に考える力を身につけられるようにする (思考・判断・表現)
3. 環境にやさしい社会の構築について、自分なりの考えを持てるようにする (主体的に学習に取り組む態度)

第2時
35m

【めあて】わたしたちの食品ロスについて考える

Q) 動画では1) 食品ロスの3つの種類 2) 日本国内の食品ロスの大きさ 3) 食品ロスが引き起こす4つの問題についてなんていうっていた？

- 動画の復習

- 話し合い

T: 自分がコンビニの店長さんだっただとします。売れ残り食品をどうする？最初は自分で考えて、その後班に分かれて話し合っ、最後に発表しましょう。

まずは自分が店長だったらどうするかワークシートを使って考える①にメモ書きをする(5分)。それから班を作って各々の「うちのコンビニプラン」を②にまとめ(10分)、発表する(5分)

○クラスで話し合うことによって、自分なりの考えを持てるようにする(主)



【まとめ】
10m

■わたしたちの食品ロスについて考えたことを各自ノートに書く

- 時間がある場合
- 発表する
- 時間がない場合
- 「〇〇君が気付いた・・・のこと、、、」や、「〇〇さんの発言の・・・のこと、、、」のように、名前をあげて教師が紹介する